

石狩湾新港港湾整備事業等経営戦略【概要】（令和7年度見直し）（案）

●見直しの趣旨

- 令和2年度に策定した石狩湾新港管理組合経営戦略について、策定から5年経過し、この間の社会経済情勢の変化に伴う投資・財政計画を見直して、経営戦略の見直しを行う

1 策定の趣旨

（1）策定の目的

- 石狩湾新港管理組合が経営する港湾整備事業および宅地造成事業について、経営方針や将来像を明確化し、計画的かつ合理的な経営を行うことにより経営基盤の強化を図り、将来にわたって安定的に事業を継続していくことを目的として策定

（2）計画期間

- 令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）まで（10年間）

2 経営の基本方針

以下を目標に港湾の運営を行う

- 札幌圏を核とする日本海側の流通拠点港湾としての機能強化
- 地域的特性を活かした産業の活性化を支える機能の強化
- 環境との共生・循環型社会の形成
- 防災機能の強化及び復旧・復興体制の構築
- 賑わいのある港湾空間・交流空間の形成

3 投資・収支計画

（1）投資について

- 東地区国際物流ターミナル整備事業に伴うふ頭用地を整備

（2）財源について

- 使用料金の改定による使用料収入
- 東地区国際物流ターミナル整備事業に伴うふ頭用地の使用料収入
- LNG発電所の増設に伴う使用料収入
- 造成土地の貸付に伴う財産収入 など

4 経営戦略の進捗管理・検証

（1）経営戦略の進捗管理

- 毎年度、投資・財政計画と実績との乖離や、他の計画との整合を確認

（2）経営戦略の見直し

- 計画との大幅な乖離や経営方針の重大な変更が生じた場合に随時の見直しを行う